

協議会だより



久喜市学童保育運営協議会

新年のごあいさつ

副理事長

(久喜市学童保育の会会長)

安藤 久美



親のかかわり

理事長

西崎 道喜



明けましておめでとうございます。今年も互いに励まし合い、よい年になるよう頑張りましょう。

私たちは、いろいろな人々とかかわって生活しています。そして、生き方を学んでいます。

子ども達も同じであります。学びは未熟です。これから、たくさん学ばなければなりません。子どもが最初に、人とかかわりを持つのは、両親です。その両親から多くの生き方を学んでいます。

ここで親として、「子と、どうかかわってきたのか、これからどうかかわったらよいか」を考えて子どもの学びを振り返ってみてはいかがでしょうか。

かかわり方の視点として「アメリカインディアンの教え」加藤諦三著(ニッポン放送出版)のなかで、次の様なことが述べられています。

- ・批判ばかり受けている子は 非難ばかりします。
- ・心が寛大な人の中で育った子は がまん強くなります
- ・敵意にみちた中で育った子は だれとでも戦います
- ・はげましを受けて育った子は 自信を持ちます
- ・公明正大な中で育った子は 正義心を持ちます
- ・人に認めてもらえる中で育った子は 自分を大事にします
- ・ひやかしを受けて育った子は はにかみ屋になります・・・

それぞれの家庭には、それぞれの生活があります。また、子ども達もそれぞれ違います。参考になればと思います。

今年も、充実したクラブを目指してまいりますのでご支援、ご協力をお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、日頃より久喜市学童保育の会の活動にご協力賜わり心より感謝申し上げます。

5月に就任して早8ヶ月が経とうとしております。右も左もわからぬまま手探り状態で始めた活動も皆様の協力があってここまでくることが出来ました。

年齢を重ねていくと年末が近づくにつれ1年があつという間だということをつくづく感じます。フランスの哲学者ポール・ジャネは、「主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される」との法則を提案しました。

このジャネの法則によれば「50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の一ほどであるが、5歳の人間にとっては5分の一に相当する。よって50歳の人間にとっての10年間は、5歳の人間にとっての1年間に当たり、5歳の人間の一日が、50歳の人間の10日に当たる」ということになります。

子ども達の放課後児童クラブがより充実した時間になるよう今後の活動に従事して参りたいと思います。子どもにとってより楽しい活動の場になるよう支援員の皆さま、保護者の皆さまのご協力を賜りますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

事務局より

- ・1月分の利用料の振替日は1月15日(月)です。口座残高の確認をお願いします。
- ・平成30年度の年間入所の申請は1月4日(木)から1月31日(水)までをお願いいたします。必要書類を添えて各クラブに提出ください。

